

平成28年7月21日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(29回公演)報告  
28.7.20:特別養護老人ホーム「清風苑」 深谷市本田

関東地方の梅雨は未だ明けていませんが、今日の暑さは格別です。

前々からお願いしていた「清風苑」の公演は、午後2時30分からで、1時40分には現地に舂田さんを除く4人が集まりました。舂田さんから場所を間違え旧大里の方へ行ってしまい急ぎこちらに向かうとの連絡が入り、開始10分前に到着し皆ホット安心しました。

時間通り2時30分にホール入所者と職員方々で40人程の公演です。

施設の担当者黒澤さんから歓迎の挨拶を受けた後、我々側から短いお礼の挨拶をし、舂田さんの口上で「南京玉すだれ」の演技が始まりました。

今日集まった方々は、これまでのディサービスの人々と違い、一回りも高齢者で身体的にも弱く、「南京玉すだれ」が初めてという方々でした。

先ずは片手で持てる「玉すだれ」を自在に変形する演技に大いに驚いていました。

次いでメンバーの自己紹介、「南京玉すだれ」の云われをお話し、5人がそれぞれ一つづつ形を作って言い当ててもらおうクイズコーナーでは、元気な声が掛ってきました。

「麦畑」では多くの方々から手拍子をもらい、体を揺らしリズムに乗った姿も見られました。「健康体操」のコーナーでは男性職員の参加で盛り上がり、不自由になった手足を曲に合わせて楽しそうに動かしていました。公演後その姿に感動した話が話題に上がりました。

最後の「きよしのズンドコ節」の演技が終わり、お礼の言葉を述べる頃には、「また来てね」という声が処々から聞こえてきて、今回の慰問公演を感動と満足感を持って終えることができました。





